



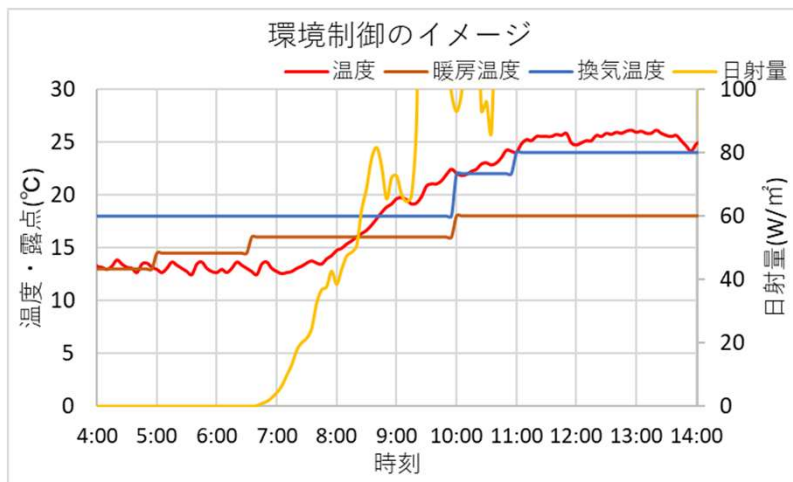
今月のトピック

結露予防と害虫予防を！

まだまだ寒い日が続きます。段階的な温度変化で、結露による病気を予防しましょう。春先の暖かくなった時期に害虫が多発しないよう、今の時期から天敵の追加放飼を行いましょう。

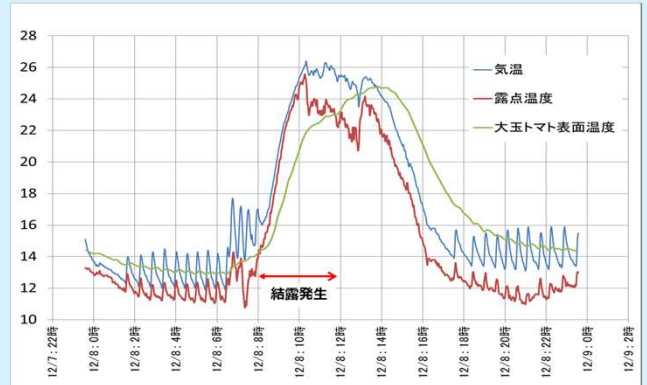
①段階的な温度変化で結露を予防

早朝加温と早めの換気で結露を防ぐ



日射量の増加とともにハウス内の気温は上がります。急激に温度が上がる前に、早朝加温でハウス内の気温を緩やかに上げましょう。

果実は水分を多く含んでいるので、温度の上がり方は気温よりも緩やかです。



【管理】

- ①日の出前に、暖房機によってハウス内の温度を上げていきます
- ②日の出後の換気温度の設定を低めにしておくことで、早い段階で換気が始まり、温度上昇を緩やかにします
- ➡果実温度と気温に差ができてしまうことが結露発生の原因になるため、暖房設定温度と換気温度を近づけておくことで、急激な温度上昇を防ぎます
- ※カーテンは一気に開けるとハウス内の温度が下がるため、少しずつ開けていきます

②2月は天敵の追加放飼時期です

春先に気温が上がり、多発する前に防除をしておきましょう

イチゴの追加放飼のおすすめは2つ

①アザミウマ対策！『メリトップ』

予防導入が効果的な捕食性天敵ククメリスカブリダニによる防除。

使用目安：1本/10 a

②ハダニ対策！『ミッチトップ』

待ち伏せ型のミヤコカブリダニと攻撃型のチリカブリダニ。

使用目安：1本/10 a



▲ミッチトップ



▲ククメリスカブリダニ

天敵資材を効果的に利用するために…天敵に適した環境を整えましょう！

活動適温：

- ・ククメリスカブリダニ…17~25℃
- ・ミヤコカブリダニ…15~30℃

※効果的な使い方のヒントは、[過去の栽培サポート通信（2023年1月号）](#)を要チェックです！